

三重県内経済情勢（平成 23 年 1 月の指標から）

県内経済は、足踏み状態にあるが、持ち直しの兆しもみられる（生産は持ち直しの動きがみられる。個人消費はおおむね横ばいとなっている。雇用情勢は依然として厳しい状況の中、改善の動きが弱まっている。）

1. 概況

（生産）

鉱工業生産指数は 3 か月連続で上昇した。【図 1】

（消費）

大型小売店販売額（既存店調整値）は前年同月を 2 か月連続で下回った。【図 2】

コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 3 か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県）は 2 か月連続で前年同月比減となった。

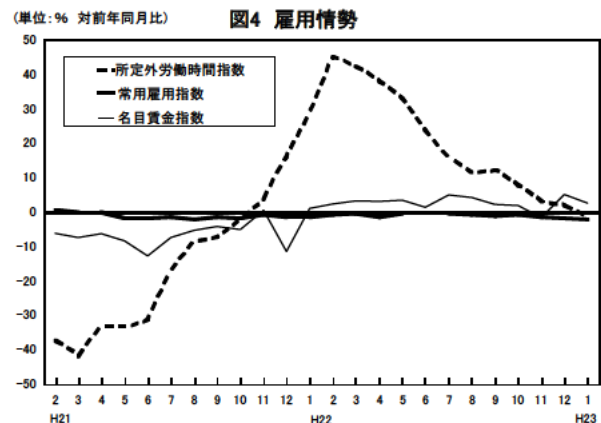
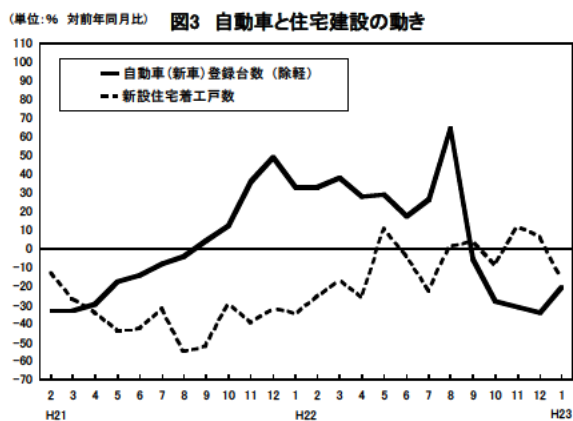
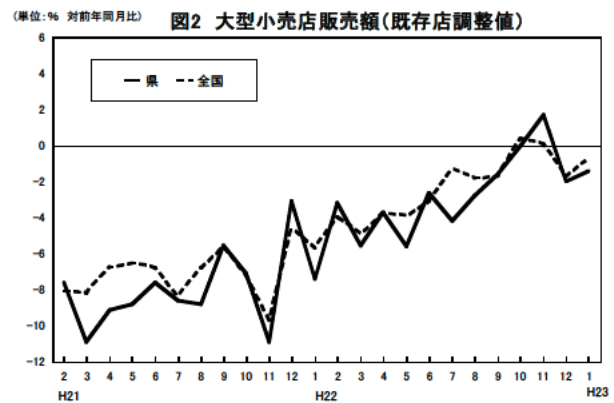
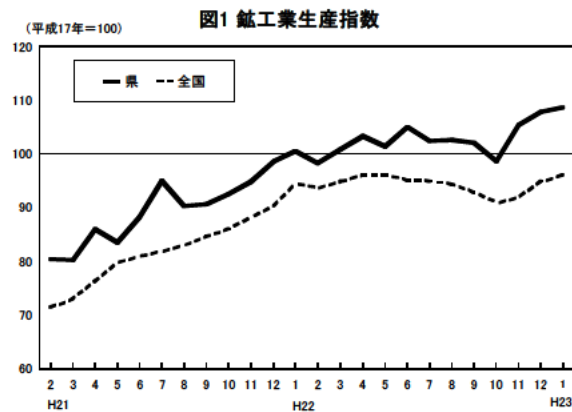
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は 5 か月連続で前年同月比減となり【図 3】、軽自動車販売台数は 4 か月連続で前年同月比減となった。

新設住宅着工戸数は 3 か月ぶりに前年同月比減となった。【図 3】

（雇用）

有効求人倍率は 0.68 倍となり、前月を 0.06 ポイント上回った。

所定外労働時間指数は 15 か月ぶりに前年同月比減、常用雇用指数は 23 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 2 か月連続で前年同月比増となった。【図 4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は 108.7 となり、前月比 0.7%増と 3 か月連続で上昇した。
- ・ 県内主要 3 業種では、電気機械工業（旧分類）（137.2）が前月比 4.7%減と 5 か月ぶりに低下し、輸送機械工業（78.9）も前月比 4.2%減と 3 か月ぶりに低下したものの、化学工業（87.8）は前月比 0.8%増と 3 か月ぶりに上昇した。
- ・ 鉱工業生産者製品在庫指数（H17=100）は 111.6 で、前月比 1.3%増と 5 か月連続で上昇した。

（※電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成 14 年 3 月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

	10月	11月	12月	1月
鉱工業生産指数	-3.5	7.0	2.3	0.7
（電気機械工業：旧分類）	0.2	7.4	4.0	-4.7
（輸送機械工業）	-12.0	8.4	2.6	-4.2
（化学工業）	10.1	-7.3	-2.0	0.8
鉱工業生産指数（全国）	-2.0	1.0	3.3	1.3
鉱工業生産者製品在庫指数	2.2	5.4	7.1	1.3

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比 1.4%減と 2 か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 3 か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県）は 2 か月連続で前年同月比減となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比 20.3%減となり 5 か月連続で減少し、軽自動車販売台数も前年同月比 12.9%減となり 4 か月連続で減少した。全自動車では前年同月比 17.4%減と 5 か月連続で減少した。

（前年同月比：％）	10月	11月	12月	1月
大型小売店販売額（県内既存店）	-0.0	1.7	-2.0	-1.4
〃（全国既存店）	0.4	0.1	-1.7	-0.7
コンビニエンスストア販売額（5 県全店）	-4.5	2.8	5.6	7.6
家電販売額（8 県全店）	57.1	112.4	-24.6	-14.7
自動車（新車）登録台数（県内）	-27.9	-30.8	-34.1	-20.3
〃（全国）	-26.7	-30.7	-28.3	-21.5
軽自動車（新車）販売台数（県内）	-18.7	-19.9	-15.8	-12.9
〃（全国）	-16.2	-15.9	-11.4	-7.8
自動車・軽自動車 合計（県内）	-24.7	-26.9	-27.4	-17.4
〃（全国）	-23.2	-25.9	-22.7	-16.7

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は 643 戸となり、前年同月比 15.9%減と 3 か月ぶりに減少した。

（前年同月比：％）	10月	11月	12月	1月
新設住宅着工戸数	-8.9	11.6	6.3	-15.9
（参考）（持家）	8.7	18.6	14.5	-4.7
（貸家）	-41.3	-20.8	-5.0	-42.4
（分譲住宅）	67.6	94.4	88.7	1.7

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は43億7千4百万円となり、前年同月比58.2%減と3か月ぶりに減少した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は23億1千5百万円となり前年同月比68.1%減と2か月連続で減少し、「地方の機関」からの受注工事額は20億5千9百万円となり前年同月比35.9%減と3か月ぶりに減少した。

（前年同月比：％）	10月	11月	12月	1月
受注工事総数（県内）	-7.2	13.8	9.4	-58.2
国の機関	18.5	70.6	-56.1	-68.1
地方の機関	-14.2	8.1	75.1	-35.9
受注工事総数（全国）	-22.9	3.7	-15.4	-15.8

(5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.68倍となり、前月を0.06ポイント上回った。
- ・所定外労働時間指数は前年同月比2.0%減となり、15か月ぶりに低下した。
- ・常用雇用指数は前年同月比2.2%減となり、23か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は前年同月比2.5%増となり、2か月連続で上昇した。
- ・完全失業率（全国値）は4.9%で、前月と同水準であった。

（※前年同月比：％）	10月	11月	12月	1月
有効求人倍率（三重県、倍）	r 0.61	r 0.61	r 0.62	0.68
"（全国、倍）	0.56	0.57	r 0.58	0.61
所定外労働時間指数※	7.6	3.1	1.9	-2.0
常用雇用指数※	-0.9	-1.5	-1.9	-2.2
名目賃金指数※	1.8	-1.7	5.0	2.5
完全失業率（全国）	5.1	5.1	4.9	4.9
（参考）完全失業率（三重県：推計値）	3.5(10～12月期)			

(6) 企業倒産

- ・企業倒産は6件発生した。負債総額は3億4千1百万円（前年同月比70.3%減）となり、2か月ぶりに前年同月比減となった。

（※％：前年同月比）	10月	11月	12月	1月
企業倒産件数（件）	10	6	10	6
負債総額（％）※	41.4	-55.5	71.6	-70.3

(7) 消費者物価

- ・消費者物価指数（H17=100）は100.8で、前月比は0.1%下落、前年同月比では0.5%上昇した。

（前月比、※前年同月比：％）	10月	11月	12月	1月
消費者物価指数（4市平均）	0.4	-0.4	-0.2	-0.1
" ※	0.5	0.4	0.3	0.5
"（全国）	0.4	-0.3	-0.3	-0.2

3. 景気動向指数 (CI 指数)

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 83.2 となり、前月と比較して 8.3 ポイント上昇した。一致指数からみる県内経済の基調は、改善を示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 3 か月連続で上回り、85.7%となった。

(※前月差：ポイント)	10月	11月	12月	1月
CI一致指数 ※	r -4.2	r 10.4	r -4.9	8.3
3か月後方移動平均※	r -1.6	r 2.0	r 0.4	4.6
7か月後方移動平均※	r -0.5	r 0.4	r 0.1	0.8
DI一致指数 (%)	r 42.9	r 85.7	r 57.1	85.7

- 先行指数（1 月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 91.7 となり、前月と比較して 7.8 ポイント上昇した。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 4 か月連続で上回り、71.4%となった。

(※前月差：ポイント)	10月	11月	12月	1月
CI先行指数 ※	r -4.4	r -0.7	r 0.1	7.8
3か月後方移動平均※	r -0.3	r -2.1	r -1.7	2.4
7か月後方移動平均※	r 0.9	r 0.3	r 0.0	1.2
DI先行指数 (%)	r 57.1	r 57.1	r 71.4	71.4

